

# SHIMANTO

# 6

四万十町通信 2025.VOL.231

JUNE

特集

生徒減の衝撃、「高校再編」…。

## 問われる高校の姿

● 県立高等学校振興再編計画(R7～R14年度)

生徒数確保に向けた「努力目標(案)」

① 入学者数

窪川高校：41人以上

四万十高校：25人以上(※1)

※1…他地域よりも地元中学生が少ない高校は個別設定

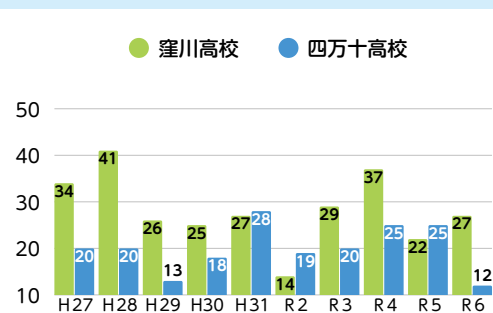
② 地元中学校からの進学割合

窪川高校：50%以上

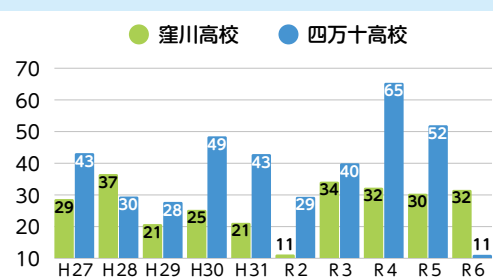
四万十高校：70%以上(※2)

※2…連携型中高一貫教育校は70%以上

● 町内高校の入学者数(単位：人)



● 町内高校の町内中学校からの進学率(単位：%)



地域の未来を左右する  
高校の存廃

地域に高校が無くなれば、生徒たちは限られた選択肢の中で進路を選ぶざるを得なくなります。また他の地域への通学を余儀なくされる中で、保護者も子どもの教育のために転居していく可能性も出てきます。このような若い世代の流出は、町の人口減少を加速させるだけでなく、地域の未来を担う大切な人材の減少にも直結します。

地域の中で成長する  
高校生の姿

地域との関わりを大切にする両校では、生徒たちが育てた花や野菜を

「販売実習」として、地域イベントや生徒たちが街を歩いて販売しています。5月12日に行われた窪川高校3年生の実習では、12名の生徒が3班に分かれて一輪車に花を積み街へ。

至る所で地域の方に呼び止められ、花は売れていきます。「暑いけど頑張ってるよ」と声を掛けられ、笑顔で「ありがとうございます」と女子高生。足が不自由な高齢の女性には、「家まで持っていきましょうか」と尋ね、「悪いね、じゃあお願い」と。そんな地域の方との会話が続きます。

街に出て地域の方と会話する中で、生徒たちは教科書や教室では学べない「地域との関わり」を体感し、成長しているのです。

特集

# 生徒減の衝撃、「高校再編」…。問われる高校の姿



町内にある2つの県立高校。四万十の豊かな自然と地域住民の温かさに包まれ、これまで地域の未来を担う若者を数多く輩出してきました。

しかし今、生徒数の減少という現実が、この学び舎の存続に静かな影を落としています。両校の入学者数がこのまま推移すれば、「高校再編」によって統合や「分校化」も視野に入ってきます。地域の未来を担う若者の学びの場を守り、地域の活力を維持するためにも、この問題を地域全体の課題として捉え、私たちにできることを真剣に考え、行動する時ではないでしょうか。

## 15年以上続く、定員割れの衝撃

人口減少・少子化は、地域活動の停滞や産業の担い手不足を招き、中山間地域においては地域社会を持続する上で深刻な問題です。

その影響は、町内にある2つの県立高校の存続にも及んでいます。窪川高校、四万十高校ともに80名の入学定員に対し、令和2年度から6年度までの入学者数の平均値は、窪川高校で26名、四万十高校で20名と大きく定員を割り込んでいます。

そんな厳しい状況の中でも、両校では「高校魅力化コーデイナー」や「地域学校協働活動推進員」を配置し、小規模校ならではの魅力・特色を生かした学校づくりに取り組んでいます。また四万十高校では「地域みらい留学」にも参画し、全国からの入学者の受け入れにも尽力しています。(詳細は「四万十町通信令和7年1月号」参照。)

高知県教育委員会は令和7年3月、令和7年度から14年度までの8年間の県立高校の在り方を示した「県立高等学校振興再編計画」を策定し公表しました。

## 今後の社会を見据えて進む 高校改革…

少子化や社会の変化に対応するため、県立高校の在り方や教育活動を再編・振興していくために策定されたこの計画。深刻化する生徒数の減少への対応として、学校の統合や定員の削減などが示されています。

掲げられた「努力目標」を実現できない場合、統合や分校化といった再編が検討される高校改革。このままでは本当に私たちの町から高校が無くなってしまいかもれません。

## 優先すべきは、子どもたちと地域の「未来」!

窪川高校同窓会 会長

佐竹 孝太 さん



町内に高校が無くなれば、当然、通学費や通学時間といった負担は大きくなります。だからと言って「地元に残そう」という議論でもないと感じます。大切なのは「地域の子どもたちのために、地域の未来のためにどうあるべきか」を考えることです。時代の変化を受け入れつつ「温故知新」のもとで、高校の思いや地域の声を尊重しながら、新しい形を共に考えていく姿勢が求められているのかもしれない。

## 「存続」できるように、精いっぱい応援していきたい!

四万十高校同窓会 会長

門脇 郁夫 さん



四万十高校は教育体制が充実しており、生徒一人一人がさまざまな活動に参加できるなど、小規模校ならではの強みがあります。しかし、子どもたちが充実した学生生活を送るためには、一定の生徒数が必要なのも事実です。近年、「地域みらい留学」の効果もあり県外からの入学者もいます。この学校を目指して来てくれる生徒がいる限り、学校が存続できるよう精いっぱい応援していきたいです。

関わりの中で、生徒は地域を愛し、未来へ羽ばたく。



「再編計画」では、今年度から令和9年度までの3年間の取り組みや実績、令和10年4月の入学者数などを基に、「統合」「分校化」といった今後の高校の在り方が検討されることとなっています。人口減少・少子化がさらに加速する中、定員割れが常態化している両校にとって、再編への切迫感が高まっています。

地元中学生の進路希望も多様化しており、入学者数を増加させることは容易なことではありません。ただ、町内で高校生活を送る今の生徒たちに私たちができることはあるはずです。通学中の生徒への声掛けや学校行事への参加など、生徒と関わりを持つことで、生徒たちはそれぞれに「地域」を感じ成長していきます。

これこそ、高校3年間という人生において重要で多感な時間を、地元高校を選択してくれた生徒たちに、私たち大人が「今」できることではないでしょうか。

中学生が見つめる未来、

保護者が願う想い。

#### 中学生の声

窪川中 2年生

吉村 至雲 さん



#### 進路先は 部活動と学校環境で決める！

中学卒業後の進路は、まだ決めていません。部活動が強い高校へ行きたいので、どうしても町外の高校になってくると思います。

小学生の時、私の学年は1人しかいませんでしたが、中学校でたくさんの友達できました。もし地元高校の部活動が強くて、生徒数も多く新しい友達がつくれるのなら進学を考えたかもしれません。

大正中 2年生

横山 優心 さん



#### 不安はあるけど、 やりたいことに挑戦！

ソフトボールで上を目指したいので、県外の強豪校も含めて進路を考えています。厳しいレギュラー争いの中で、自分を試してみたい。大きな高校に行くことや親元を離れることには、少し不安はありますが、やりたいことに挑戦してみたい気持ちの方が強いです。それに今までとは違った人間関係の中で、高校生活を送ってみたい気持ちもあります。

十和中 3年生

久原 明 さん



#### 母のような 看護師になるために！

幼い頃から看護師である母に憧れ、気付けば私も看護師を目指すようになっていました。中学卒業後は、5年一貫の看護科がある高知市内の高校への進学を考えています。

今、3年生は7名しかいませんが、生徒数が多い大きな高校への不安はありません。それに今までずっと「運動会」だったので、大人数で行う「体育祭」にも憧れます。

#### 保護者の声

窪川中 1・3年生  
保護者

森本 英和 さん



#### 地元高校で完結できれば それが一番！

子どもたちには高校卒業後の進路まで考えて、より選択肢が多い道を選んでほしいです。先月号の広報紙を見て、町内高校でも町外校と同等レベルで進学できていることを知りました。こういった情報をもっと周知していけば、地元高校も子どもたちの選択肢の1つになってくるはずです。町外高校への進学は何かと負担が大きいので、地元高校で完結できるのであればそれが一番です。

大正中 2年生  
保護者

谷脇 祐二 さん



#### 母校には存続してもらいたいが…。

私が四万十高校に通っていた頃は、今よりもっと生徒が多く、先輩や仲間と過ごしたたくさんの思い出があります。時代の流れとはいえ、母校が存続の危機にあるのはやはり寂しいです。

四万十高校には、小規模校ならではの良さがあるし、大きな高校に行けば視野も広がり成長できるのも事実です。大切なのは子どもの気持ちを優先してあげることですね。

十和中 2年生  
保護者

森田 充浩 さん



#### 子どもの入学で地元高校の良さを実感！

この春、長男は四万十高校を卒業し県外の希望大学へ。長女は情報処理を学ぶため高知市内の高校へ進学しました。私も大正高校OBですが、普通科へ行くなら地元高校をお勧めします。小規模校ならではの手厚いサポートや「じゆうく。」の支援などもあり、得られるものが大きい。今は給食もあり、家から通えて親も安心。地元CATV放送で高校生活の様子が分かるのもいいですね。

#### 窪川高校

#### 花がもたらす高校生との交流！



窪川高校の玄関前では、センパフローレンス(1鉢80円)・球根ベゴニア(1鉢800円)を販売しています。生徒たちが育てた花を購入し、皆さんも生徒たちとの会話に花を咲かせましょう！

※販売は平日の学校開校時のみ



#### 四万十高校

#### 地元事業者とコラボした商品開発！



今年度は総合的な探究の授業で、町内事業者と連携して「ふるさと納税」の返礼品開発に挑戦しています。商品や体験メニューの開発を通して、地域活性化について学んでいきます。

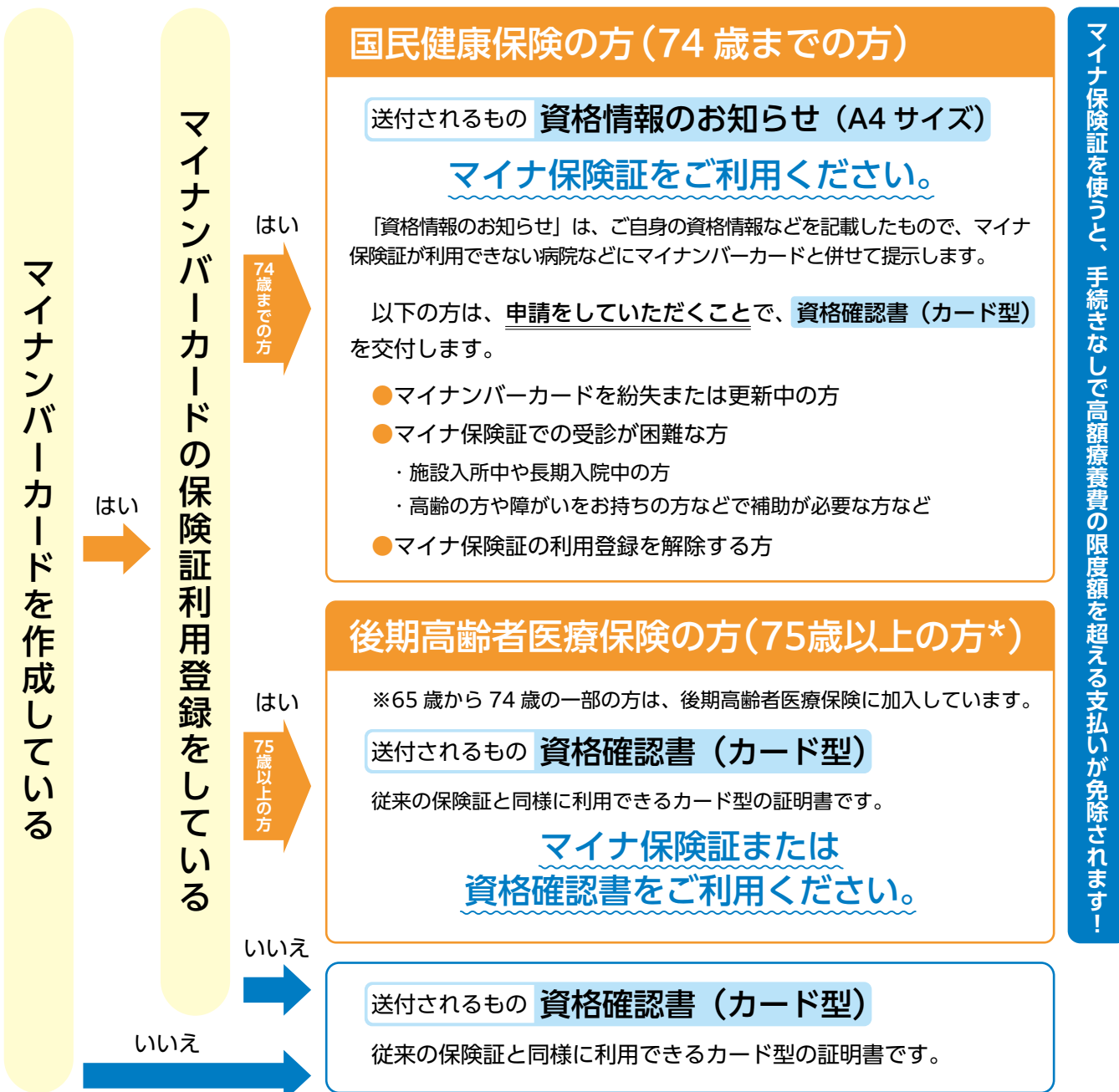


お問い合わせ先／人材育成推進センター ☎22-3163

## 四万十町国民健康保険・後期高齢者医療保険に加入の皆さまへ 8月1日からの健康保険証についてのご案内

お手元にある保険証の有効期限は、最長で令和7年7月31日までとなっています。  
現在、マイナンバーカードでの保険証利用（マイナ保険証）を基本とする仕組みに移行しています。今年度は申請不要で『資格情報のお知らせ』または『資格確認書』を送付します。

送付時期  
7月下旬



【お問い合わせ先】

町民課 ☎22-3117 大正町民生活課 ☎27-0112 十和町民生活課 ☎28-5112

### 十和小学校・十和中学校 校名変更式



学校関係者や地域住民らで新たな歴史の始まりを祝った

今年度から昭和小学校と統合した十川小学校。校名が新たに「十和小学校」へと変更され、隣接する十川中学校も「十和中学校」へと改名されました。4月10日、その両校の校名変更式が十和中学校体育館で行われました。

式典には、児童・生徒、教職員のほか、保護者や地域住民ら約150名が出席。新しい校旗の授与や、作詞・作曲を手掛けた地元出身の音楽家、中岡太志さんが新しい校歌も披露しました。

十和地域唯一の小中学校として、これからも地域と共に、新たな歴史を刻んでいきます。



「よいしょ、よいしょ、よいしょ！」の掛け声で鏡開き

### 「しまんと酒蔵マルシェ」盛況

仁井田米を使った純米酒「窪川」の誕生を記念し「第1回しまんと酒蔵マルシェ」が4月20日、文本酒造で行われました。

新銘柄の発売をきっかけに地域を盛り上げようと企画したもので、地域活性化に取り組む「しまんと街おこし応援団」も加わり、地域と酒蔵が協力して開催。来場者らは購入したからあげなどをつまみに、日本酒の味わいを楽しんでいました。

また「窪川」の鏡開き後には、祝い酒が来場者に振る舞われたほか、子どもたちによる餅投げなども行われ、酒蔵周辺にはにぎわいを見せていました。



立ち寄った観光客や帰省客を地域住民がもてなした

### 道の駅四万十大正「ふるさと市」開催

観光や帰省で四万十町を訪れた方々に楽しんでもらう「ふるさと市」が4月29日、道の駅四万十大正で開催されました。

毎年観光客が増えるこの時期に行っているもので、町民と観光客とのふれあいの場として道の駅を活用し、四万十の大自然を楽しんでもらうイベントとなっています。

初夏の日差しの中、地域の方がスイーツや総菜、地酒などを販売。他にも木工体験や地元中学・高校生合同のジャズ演奏、四万十川とどろき太鼓による迫力ある演奏もあり、立ち寄った方々を楽しませていました。



約500匹のこいのぼりの下、家族連れでにぎわった

### 大満足「よってこい四万十」

四万十町の春の風物詩「四万十川のこいのぼりの川渡し」。約500匹のこいのぼりが上空を泳ぐこいのぼり公園で5月3日、「第22回よってこい四万十」が盛大に開催されました。

毎年ゴールデンウィーク期間中に開催されるこのイベントは、県外から訪れる来場者も多く、今年も家族連れやツーリング仲間などでにぎわいました。

会場に設置された釣り堀ではあめご釣り体験が楽しめ、ふわふわ遊具などのアトラクションも大人気。来場者は上空を優雅に泳ぐこいのぼりを眺めながら、春のひと時を楽しんでいました。

変わります！「木造住宅の耐震化」 お知らせ

「四万十町住宅耐震化促進事業補助金」の変更点をお知らせします。

《変更点》

①耐震診断の自己負担が無料に！

3,000円 → 無料

※昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅を所有している方が、手軽に家の耐震性を確認できるようになりました。

②耐震診断が省略可能に！

※耐震工事を計画している方が、迅速に耐震設計、耐震工事を行うことができるようになりました。

※詳細については四万十町ホームページをご確認ください。



お問い合わせ先 建設課 ☎22-3120

台風などの豪雨時の避難先 お知らせ

台風や線状降水帯などにより、豪雨災害などの危険性がある場合、町では次の避難所を開設します。事前に最寄りの避難所を確認のうえ、「いつもと違う」と感じた場合は、早めに避難するようにお願いします。

【豪雨時の避難所一覧】

|      |                                                                               |
|------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 窪川地区 | 農村環境改善センター<br>集落活動センター仁井田のりん家<br>米奥小学校<br>東又基幹集落センター<br>興津小学校<br>志和コミュニティセンター |
| 大正地区 | 大正地域振興局<br>大正北ノ川多目的集会所                                                        |
| 十和地区 | 十和地域振興局<br>十和隣保館                                                              |

※避難時はマスクやタオル、スリッパなどを各自、持参してください。

☑キーワード「垂直避難」

- 夜間の激しい降雨など、避難所への移動が困難な場合は建物の2階以上に避難！
- 土砂災害の恐れがある場合は、山側と反対側の部屋へ移動し、窓ガラスには近づかない！

お問い合わせ先 危機管理課 ☎22-3280

「特別弔慰金」請求手続き開始 お知らせ

今日の日本の平和と繁栄の礎となった戦没者の尊い犠牲に、国として改めて弔意を表すため、戦没者のご遺族に「特別弔慰金」が支給されます。

戦没者の死亡当時のご遺族で、令和7年4月1日時点で、公務扶助料や遺族年金を受ける方がいない場合に、「第12回特別弔慰金」として額面27万5千円、5年償還の国庫債券が支給されます。

●請求期限(四万十町)

～令和10年3月31日まで

※請求期限を過ぎると請求できませんので、ご注意ください。

お問い合わせ先

健康福祉課 ☎22-3115  
大正町民生活課 ☎27-0112  
十和町民生活課 ☎28-5112

町に楽しい対話の文化を「ファシリテーター養成講座」参加者募集

会議や話し合いの場で、参加者からの発言がなく困ったことはありませんか？楽しい会話の中からさまざまな意見を引き出すスキルを学ぶ「町民ファシリテーター養成講座」を全8回の日程で開催します。見学だけでも構いませんので、皆さまぜひご参加ください。詳細は町ホームページをご確認ください。

1回目

●日時 6月28日(土)9:30～

●場所 役場東庁舎1階多目的大ホール



お問い合わせ先

人材育成推進センター ☎22-3163

令和7年4月分からの年金額の引き上げについて お知らせ

4月分(6月13日支給分)からの年金額が決定しました。令和6年度比で、1.9%の引き上げとなります。

●老齢基礎年金額(年額)

|                  |          |
|------------------|----------|
| 昭和31年4月2日以後生まれの方 | 831,700円 |
| 昭和31年4月1日以前生まれの方 | 829,300円 |

※480 か月分の保険料を納めた場合の満額。納付済月数によって金額の変更があります。

●障害基礎年金額(年額)

|                  | 障がいの程度<br>1級 | 障がいの程度<br>2級 |
|------------------|--------------|--------------|
| 昭和31年4月2日以後生まれの方 | 1,039,625円   | 831,700円     |
| 昭和31年4月1日以前生まれの方 | 1,036,625円   | 829,300円     |

※別途、子の加算を受けられる場合あり



お問い合わせ先

高知西年金事務所 ☎088-875-1717  
町民課 ☎22-3117  
大正町民生活課 ☎27-0112  
十和町民生活課 ☎28-5112

ひとり親家庭医療費受給者証の更新 お知らせ

6月は「ひとり親家庭医療費受給者証」の更新申請期間です。引き続き、助成を受けるためには申請書の提出が必要です。

●受給要件 生計を共にする方全員が令和6年分の所得税が非課税であること。

●申請に必要なもの

- 更新申請書
- 生計状況に関する調査票
- 受給者全員の医療保険の資格情報が確認できるもの

※詳細は6月上旬に発送した「通知文書」を参照

●申請期限 6月30日(月)

※未申請の方や過去に申請が却下された方も、今回の受給要件を満たせば助成を受けられます。申請期限までに申請をしてください。

お問い合わせ先

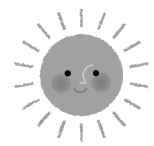
町民課 ☎22-3117  
大正町民生活課 ☎27-0112  
十和町民生活課 ☎28-5112

個人町・県民税の納税通知書を発送します お知らせ

令和7年度個人町・県民税の「納税通知書」を6月10日(火)に発送します。納期限までに納付をお願いします。

- 納期限
- 1期 6月30日(月)
  - 2期 9月1日(月)
  - 3期 10月31日(金)
  - 4期 12月25日(木)

お問い合わせ先 税務課 ☎22-3116



## 食事をもっと楽しく！



毎年6月は「食育月間」です。食事において大切なことは、味付けや栄養バランス、彩りなどいくつかあります。その中で忘れてはいけないのが、「食事を楽しむ」ことです。誰かと一緒に食事をする事で、楽しく、より一層おいしく感じることはありませんか？

家族や友人と一緒に食事をする事を「共食」といいます。家族や仲間の笑顔があふれる食卓は、おいしさも倍増！

「共食」にはさまざまな良いことがあります。



家族や友人と  
コミュニケーションを  
とることができる

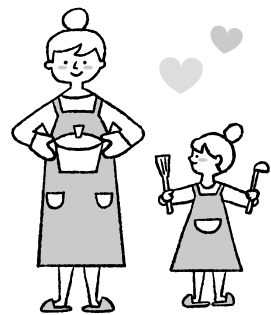


食事作法を  
身に付けることが  
できる



栄養バランスの  
よい食事ができる

など



毎食は難しくても、朝食や休日など家族がそろいやすい時間には、家族みんなで食べることを意識しましょう。また、一緒に食事をするだけでなく、食事の準備や一緒に後片付けをすることも「共食」に含まれます。皆さんの暮らしに合う形で、家族で食事を楽しむ「共食」の機会を増やしましょう。

【お問い合わせ先】健康福祉課 ☎22-3115

## ステロイドを正しく使おう



ステロイド外用薬は、湿疹や皮膚炎の治療に欠かせない薬ですが、誤った使い方をすると効果が低下し、副作用を招くこともあります。適量を正しく塗ることが重要です。塗る量の目安は、指先から第一関節までの量です。塗る際は皮膚を清潔にした後、薬を優しく伸ばしましょう。強くこすると肌を刺激してしまうため注意が必要です。

「ステロイドは危険だからすぐやめるべき？」という誤解もありますが、正しく使えば安全です。急にやめるとリバウンドが起きることもあります。また部位や症状によって適切なものを選ぶ必要があるため、以前使った薬を再び使う場合は医師や薬剤師にご相談ください。

6月の無料健康相談日

15日(日)、29日(日)です。

どうぞ、気軽にご相談ください。

【お問い合わせ先】  
調剤薬局技術センター  
薬剤師 高橋 弘季  
☎22-1000



## 子育て通信

| 内 容           | 日 時      |             | 場 所           | お問い合わせ              |
|---------------|----------|-------------|---------------|---------------------|
| 4 か月児・7 か月児健診 | 6月11日(水) | 対象者に個別通知    | 窪川地域子育て支援センター | 健康福祉課<br>☎22-3115   |
|               | 7月 9日(水) |             |               |                     |
| 1 歳 6 か月児健診   | 6月18日(水) |             | 四万十町役場本庁東庁舎   |                     |
| 赤ちゃん相談        | 6月19日(木) | 9:30~11:30  | 十和地域子育て支援センター | 十和町民生活課<br>☎28-5112 |
|               | 7月 2日(水) | 10:00~12:00 | 窪川地域子育て支援センター | 健康福祉課<br>☎22-3115   |



## 健康検査・がん検診

| 内 容                                                                             | 日 時      |             | 場 所         | お問い合わせ            |
|---------------------------------------------------------------------------------|----------|-------------|-------------|-------------------|
| ○若者健診   ○特定健診<br>○後期高齢者健診<br>○胃がん検診   ○大腸がん検診<br>○前立腺がん検診<br>○結核・肺がん検診(10:15まで) | 6月25日(水) | 8:30～10:30  | 影野町民会館      | 健康福祉課<br>☎22-3115 |
| ○若者健診   ○特定健診<br>○後期高齢者健診<br>○大腸がん検診<br>○前立腺がん検診   ○結核・肺がん検診<br>※胃がん検診はありません    |          | 13:00～14:30 | 仁井田町民会館     |                   |
| 子宮頸がん検診                                                                         | 7月 1日(火) | 8:30～10:30  | 四万十町役場本庁東庁舎 |                   |
| 乳がん検診                                                                           |          | 8:30～11:00  |             |                   |



からだに  
いいはなし

早め  
の  
対  
策  
が  
大  
切  
で  
す  
！



骨粗しょう症は気付かないうちに進行しています。

「ちょっと転んだだけなのに骨折した…」 若い時は転んでも打撲ですんだはずなのに、50代に差しかかった頃からは骨折してしまうことも珍しくありません。それは骨粗しょう症によって、骨がもろくなってきている可能性が高いのです。特に女性は50代以降、新しい骨作りに深く関わっている女性ホルモンの分泌量が減少してきます。そのため骨密度が低下し、骨粗しょう症のリスクも高まってしまいます。

また、骨粗しょう症は気付かないうちに進行していることが多く、骨密度の検査を受ける人も多くないのでなおのことです。仮に骨密度の低下が進み何の対策もしなければ、転んだ際に骨折したり、腰痛だと思って病院に行くと実は圧迫骨折をしていたりということも少なくありません。

50歳以上の女性の約4人に1人が骨粗しょう症？ 骨折のリスクは、骨密度によっておおそ把握できます。20~40代の平均骨密度の70%以下になると、骨折のリスクが大きい骨粗しょう症と診断されます。ちなみに同年代の平均値だからといっても、決して安心できません。

実際、加齢とともに骨粗しょう症による骨折リスクは高まります。推定では骨粗しょう症の患者は1500万人を超えているといわれ、実に50歳以上の女性の約4人に1人が骨粗しょう症ともいわれています。

男女問わず早めの対策を 骨粗しょう症は女性に多い病気ですが、男性も決して無縁ではありません。女性と比べると、男性は骨格が大きく、骨も太いため、骨量の貯蓄も多くあります。しかし、男性も60代頃から骨量が減少していき、それに伴い骨粗しょう症の危険性が高まってくるのです。また、糖尿病や高血圧症などの生活習慣病は骨粗しょう症の要因となるため、男女ともに気を付けたいものです。骨粗しょう症による骨折を防ぎ、いつまでも健康で過ごすためにも、男女問わず、早めの対策が必要であることは間違いありません。

四万十町国保大正診療所 山本翔平・大川剛史

「事業承継」の準備は進んでいますか？

お知らせ

＼ 経営者の皆さん、60歳になったら準備を！ /

事業承継の取り組みは、後継者の育成も含めると5年から10年かかるといわれており、早期かつ計画的な取り組みが必要です。経営者の皆さん、60歳を過ぎたら準備を始めましょう。

まずは、事業承継に関する公的な無料相談窓口である「高知県事業承継・引継ぎ支援センター」やお取引金融機関、顧問税理士などにご相談ください。

専門家のサポートを受けながら、県の補助金や融資制度などの支援制度を活用し、徐々に事業を引き継いでいくことをお勧めします。

＼ 事業の拡大を目指す経営者の皆さん、起業・創業を希望される皆さんへ /

高知県では中山間地域の事業を引き継ぐ方に対して、事業の買収費用、事業承継後の取り組みにかかる経費、事業を引き継ぐための研修中の生活費の補助など、さまざまな支援策で事業承継を応援しています。

また、中山間地域で事業引継ぎを行った買い手に対して給付金を支給することで、事業承継を後押ししています。

補助金、奨励給付金を利用することで費用負担を抑えて事業を引継ぐことができますので、活用をご検討される方は、「高知県事業承継・引継ぎ支援センター」または「高知県経営支援課」へご相談ください。

補助金、奨励給付金および融資制度の詳細はこちらから



事業承継に関する無料相談窓口

高知県事業承継・引継ぎ支援センター TEL:088-802-6002

お問い合わせ先 高知県商工労働部経営支援課(事業承継担当) ☎088-823-9697

「定期購入トラブル」にご注意！

お知らせ

定期購入に関するトラブルの相談が、高知県内においても増加しています。

「定期購入トラブル」とは…

「1回目90%OFF」、「初回実質0円(送料のみ)」といったように、通常価格より低価格で購入できると広告しながら、実は「定期購入」が条件となっていたというものです。

トラブルの例

「解約しようとする、差額の支払いを求められた」「うまく解約手続きができない」  
「定期縛りなしの記載があったが、申込時に定期購入となっていた」といった事例があります。

インターネットで注文する際は、次のことに注意してください

- ① 契約条件の細部の確認
- ② 販売業者の情報や評判の確認
- ③ 最終確認画面の確認と保存

電話での注文時には、不要な商品を購入したり、意図しない「定期購入」の契約にお気を付けください。



お問い合わせ先 にぎわい創出課 ☎22-3281

○休日在宅当番医

| 月 日      | 医院名    | 電話番号     |
|----------|--------|----------|
| 6月 15(日) | くぼかわ病院 | ☎22-1111 |
| 22(日)    |        |          |
| 29(日)    |        |          |
| 7月 6(日)  |        |          |



○休日水道修理当番

| 月 日      | 業者名    | 電話番号     |
|----------|--------|----------|
| 14(土)    | 桑原水道   | ☎22-1163 |
| 15(日)    | 横山水道設備 | ☎22-3608 |
| 6月 21(土) | 岩本商店   | ☎22-2716 |
| 22(日)    | 日化住宅機器 | ☎22-0407 |
| 28(土)    | 宮脇水道   | ☎22-1581 |
| 29(日)    | 高橋設備   | ☎22-0662 |
| 7月 5(土)  | 桑原水道   | ☎22-1163 |
| 6(日)     | 横山水道設備 | ☎22-3608 |

❗ 休日水道修理当番は窪川地域のみです。  
大正・十和地域の方は各地域振興局にお問い合わせください。  
大正 地域振興課 ☎27-0111  
十和 地域振興課 ☎28-5111

○無料相談 (秘密厳守です。)

1日行政相談 【窪川】行政相談員 森 英真【大正・十和】行政相談員 山本 安弘

| 月 日      | 時 間         | 地 域 | 場 所                 | 電 話 番 号          |
|----------|-------------|-----|---------------------|------------------|
| 6月 12(木) | 10:00~12:00 | 大正  | 大正地域振興局 2階 小会議室     | 大正地域振興課 ☎27-0111 |
|          | 13:00~15:00 | 十和  | 十和地域振興局 2階 第2会議室    | 十和地域振興課 ☎28-5111 |
| 7月 8(火)  | 10:00~15:00 | 窪川  | 農村環境改善センター 2階 第1会議室 | 総務課 ☎22-3111     |

令和7年度  
入札結果(令和7年4月実施分)について

入札結果は、町ホームページにて確認することができます。  
また、右の二次元コードから読み込むことも可能です。



犬・猫の飼い方について

生き物を飼う責任を持ち適切に飼いましょう。犬の登録(一生に1度)と狂犬病予防注射(毎年1回)は、「狂犬病予防法」に定められた飼い主の義務です。注射を怠った場合は20万円以下の罰金刑が科される場合もあります。

【お問い合わせ先】 環境水道課 ☎22-3119

正社員募集中

- 給与 月給18~22 万円(経験者優遇)
- 仕事内容 総務職全般
  - システムへの入力事務(経理ソフト)
  - 各種書類の作成・受注業務処理・官公庁への提出書類作成
  - 電話対応及び来客対応・その他付随する業務全般(雑務も含む)
- 勤務地 高岡郡四万十町北琴平町
- 勤務時間 週5日 8:30~17:15
- 休日 週2日(土・日・祝日)  
\*GW \*夏季休暇 \*冬季休暇
- 待遇 雇用・労災・健康・厚生
- 応募条件 年齢 45歳以下
- 応募先 TEL:0880-22-3795  
(採用担当:山中)  
※お電話お待ちしております!

有限会社

高南技術コンサルタント

Kohnan Technology Consultant

広告

未経験者歓迎！  
「国勢調査」調査員募集

募 集

今年度、10月1日を基準日として全国一斉に「国勢調査」が実施されます。実施にあたり、四万十町では調査員として協力して下さる方を募集しています。

●主な仕事内容

- 調査員向け説明会への出席
- 担当する調査区内の世帯を訪問し、協力依頼や調査書類の配布など
- 調査書類の回収および点検・整理後に町に提出

●業務期間（任命期間）

8月上旬～11月上旬の約3か月間

●申込方法 お電話で下記までお申し込みください。



申込・お問い合わせ先 企画課 ☎22-3124

町営住宅 入居者募集

募 集

●募集住宅

| 団地名            | 間取り  | 募集戸数 |
|----------------|------|------|
| 黒石第3団地(公営)     | 2DK  | 1戸   |
| コーボしまんと1号棟(公営) | 4LDK | 1戸   |
| 江師第1団地(公営)     | 2DK  | 1戸   |
| 今成団地(公営)       | 3DK  | 2戸   |
| 昭和井ノ上団地(定住)    | 1LDK | 1戸   |

●申込期限 6月30日(月)必着

●必要書類 入居申込書・住民票・完納証明・納付状況調査同意書・所得を証明する書類など

●その他 ①申し込みは、1回の募集において1世帯につき1通に限りです。  
②入居資格、申込方法などについては建設課までお問い合わせください。

●申込書配布場所

建設課、大正・十和地域振興局、興津出張所



お問い合わせ先 建設課 ☎22-3120

松葉川地域「農家支援住宅」入居者募集

募 集

| 団地名  | 募集戸数 | 所在地         | 構造    | 間取り  | 床面積    | 家賃        |
|------|------|-------------|-------|------|--------|-----------|
| 米奥団地 | 2戸   | 米奥1983番地6・7 | 木造平屋建 | 3LDK | 93.13㎡ | 36,000円/月 |



●入居条件 次の条件をすべて満たす方

- (1)本町で自営就農する方(兼業農家を含み、耕作面積が30a以上または農産物の年間販売金額が50万円以上を目標とする方)または本町に所在する農業法人などで雇用就農する方
- (2)自治会活動、その他の地域活動に積極的に参加する意思がある方
- (3)現に住宅に困窮していることが明らかな方
- (4)本町に納付すべき公租公課が完納している方
- (5)入居しようとする世帯員が暴力団員でないこと

●入居期間 入居から3年間

●募集・受付期間

6月10日(火)～6月30日(月)

●必要書類 申込書・住民票・納付状況調査同意書・課税証明書

●申込書配布場所

建設課、大正・十和地域振興局、興津出張所



お問い合わせ先 建設課 ☎22-3120

「令和7年度国家公務員税務職員  
採用試験」受験申込開始

募 集

- 受験資格 1 令和7年4月1日において高等学校または中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して3年を経過していない方、および令和8年3月までに高等学校または中等教育学校を卒業する見込みの方  
2 人事院が1に掲げる方に準ずると認める方

●インターネット申込受付期間

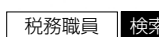
6月13日(金)9時～6月25日(水)「受信有効」

●第1次試験日

9月7日(日)



※詳しくは国税庁ホームページをご覧ください。



申込・お問い合わせ先

須崎税務署 総務課 ☎0889-42-2363

「四万十町過疎地域持続的発展  
計画の変更」に関わる意見公募

募 集

過疎対策事業債などの支援措置を幅広く活用し、健全で持続可能な行財政運営を推進するため、「四万十町過疎地域持続的発展計画」の変更を行いますので、皆さまからのご意見を募集します。

●意見公募の案件名

四万十町過疎地域持続的発展計画の変更について

●意見公募期間

6月13日(金)～7月4日(金)

●資料の閲覧方法

- (1)閲覧所での閲覧  
①本庁1階閲覧所、②大正地域振興局1階閲覧所、③十和地域振興局1階閲覧所、④興津出張所閲覧所
- (2)町ホームページでの閲覧

●意見の提出方法

- (1)意見箱による投函
- (2)郵送の場合  
〒786-8501 四万十町琴平町16-17  
四万十町役場 企画課宛
- (3)FAXの場合／22-3123
- (4)直接提出の場合／役場企画課へお越しください。
- (5)電子メールの場合  
103080@town.shimanto.lg.jp



お問い合わせ先 企画課 ☎22-3124

四国電力からダム・取水堰の  
放流について

お知らせ

今年も出水期に入り、集中豪雨や台風の発生するシーズンとなりました。

四万十川上流の津賀ダム(古味野々ダム)および佐賀取水堰(家地川えん堤)では、出水に備え、設備の点検・整備を行い、事故の未然防止に努めています。

ダム・取水堰から放流する際は、警報車およびサイレンでお知らせします。**放送などを聞いた時は、**

●特にお子さまが川の方へ行っていないか

●舟や荷物などは大丈夫か

今一度確認を行って、水による事故や災害の防止に十分ご注意ください。また、沈下橋を通行する場合は、特に安全を確認するようにしてください。

周知・警報方法

1. 警報車による周知

放流開始の約30分前にダム・取水堰を出発し、下流に向かって順次お知らせします。

2. サイレンによる警報

- ①放流開始の30分前にサイレンの吹鳴を始め、以下順次吹鳴します。
- ②津賀ダムからの流入量が、毎秒「770トン」および「3870トン」になった時もサイレンを吹鳴します。
- ③ダムからの放流量が著しく増加すると予想された時もサイレンを吹鳴します。

サイレンの吹鳴方法

(1分間吹鳴)(15秒休止)(1分間吹鳴)

◎ダム放流量などの情報は、フリーダイヤルで確認することができます。

☎(フリーダイヤル)0120-27-5430

《アナウンス内容》

- ・津賀ダム放流量
- ・佐賀取水堰放流量
- ・昭和測水所水位



お問い合わせ先

四国電力株式会社

津賀ダム管理事務所

佐賀取水堰管理事務所

☎27-5314

☎22-0069

## 濱中伸也 組子細工展

イベント

宿毛市在住で濱中建築2代目の大工、濱中伸也さんの「組子細工作品展」が現在、古民家カフェ半平で開催中。濱中さんは令和3年に『土佐の匠』に認定された組子細工職人で、昨年の宿毛市展で大賞を受賞。今回はそれらの作品をはじめ、大小25点ほどを展示。繊細で細かい作業の組子細工の作品を、ゆっくりとご覧ください。

- 時 間 9:00～16:00
- 開催期間 現在開催中(～6月15日まで)
- 場 所 古民家カフェ半平
- 参加費 入場無料



お問い合わせ先

古民家カフェ半平 ☎22-2101

## 教科書展示会のお知らせ

イベント

四万十教科書センターでは、小学校、中学校、高等学校で使用する教科書見本の公開展示を行います。学校関係者はもとより、保護者や町民の皆さまに教科書への関心を持ってもらう良い機会ですので、ぜひご来場ください。

お越しの際は、四万十町教育研究所にお声掛けください。

また、一般の方々への閲覧・貸し出し(最長10日間)も行っています。貸し出しの際には、本人確認のため身分を証明するものが必要です。  
※展示会の準備・開催期間中は貸し出しができない場合があります。

- 時 間 9:00～17:00  
(12:00～13:00までは除く)
- 開催期間 6月10日(火)～6月24日(火)  
※土曜日・日曜日は休み
- 場 所 四万十町農村環境改善センター 2階第1会議室

お問い合わせ先

四万十町教育研究所 ☎22-3287

## 男女共同参画週間について

お知らせ

6月23日から29日までは『男女共同参画週間』です。男性と女性が性別に関係なく、職場・学校・地域・家庭などで、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」の実現には、一人一人の取り組みが必要です。



期間中、四万十町立図書館では特設コーナーを設け、関連図書の貸し出しを行っていますので、ぜひご来館ください。

男女のパートナーシップについて『男女共同参画週間』をきっかけに少し考えてみませんか？

お問い合わせ先 町民課 ☎22-3117

## みんなが輝く未来を！ 「男女共同参画推進委員」募集

募集

四万十町の男女共同参画推進に関する事項について審議していただく委員を募集します。

- 任 期 2年(令和7年8月～令和9年7月)
- 募集人数 若干名
- 応募資格 町内在住の18歳以上の方
- 応募方法 応募用紙に必要事項を記入のうえ、町民課までご提出ください。
- 応募用紙配布場所  
町民課、大正・十和地域振興局町民生活課  
※町ホームページでもダウンロードできます。
- 応募期限 6月27日(金)17時必着

申込・お問い合わせ先 町民課 ☎22-3117

## 男女共同参画推進月間講演会 「高知発 子育ての新時代」

お知らせ

6月は高知県の『男女共同参画推進月間』です。こうち男女共同参画センター「ソーレ」では、家事に注目した講演会を開催します。講師は男の家事教室「カジオス」代表の尾上元彦さん。育休取得予定の方や家族と家事分担の話をしたい方にお勧めです。

- 日 時 6月22日(日)  
13:30～15:00(開場13:00)
- 場 所 こうち男女共同参画センター「ソーレ」  
3階大会議室
- 参加費 無料
- 定 員 200名(予約優先・先着順)
- その他 託児(要予約)、手話通訳あり



申込・お問い合わせ先

こうち男女共同参画センター「ソーレ」  
☎088-873-9100

すくすく

宮内

たけち ふみと

**武知 史澄さん**

令和6年1月5日生まれ

たくさん笑ってたくさん食べる史澄、とってもかわいいよ！

(佑樹・奈央子より)

3歳頃までのお子さまを募集しています！応募はこちらから →

【お問い合わせ先】  
企画課 ☎22-3124

LINE

地域の情報や  
災害情報を配信

YouTube

町の取り組みや  
地域資源映像を配信

Instagram

#しあわせしまとせいかつ  
で町内の魅力を配信

note

町内の飲食店や  
地域の取り組みを配信

四万十町の魅力を  
**発信中！**



## 青春、始動！ 四万十高校4月のイベントレポート



### 青春の扉を開く！ 「対面式」「部活動紹介」で高まる期待！

4月10日、12名の新入生を歓迎し交流を深める「対面式」と「部活動紹介」を行いました。部活動紹介では、ソフトボール部、女子バスケット部、音楽部、ドローン部、情報処理部、放送部が、それぞれに魅力を紹介します。

ソフトボール部はキャッチボールを、バスケット部はシュートパフォーマンスなどを披露。中でも「わー」と歓声が上がったのは、ドローン部がドローンを離陸させた時でした。

新入生にとっては、これから始まる青春の3年間への期待が高まった時間となったようです。



### 火起こしから始まる笑顔！ 全校生徒で楽しむバーベキュー遠足

4月18日、全校生徒で「轟公園」へ遠足に行きました。各ホームや学年混合のグループに分かれてのレクリエーション、バーベキューを満喫しました。

仲間と協力しながらの火起こし体験など、小規模校ならではの遠足を、みんなで楽しみ、笑顔の絶えない遠足となりました。



### 生徒会と行く、 1年生同士の仲を深める「仲間づくり研修」

4月17日、生徒会4名が企画した「仲間づくり研修」を行いました。最初の自己紹介の時には緊張していた1年生も、その後のレクリエーションでお互いに手作りの紙飛行機を飛ばすうちに自然と笑顔に。

雰囲気も和んできたところで校舎を飛び出し、道の駅四万十とおわで昼食、さらには海洋堂ホビー館を満喫。1年生同士の距離が縮まった楽しい1日となりました。



#### 6月の主な予定

|    |   |                          |
|----|---|--------------------------|
| 3  | 火 | 中間試験                     |
| 4  | 水 | 中間試験                     |
| 5  | 木 | 中間試験                     |
| 6  | 金 | 中間試験                     |
| 7  | 土 | 模試、公務員模試（3年）<br>土曜補習（1年） |
| 8  | 日 | 模試（3年）                   |
| 14 | 土 | 土曜補習                     |
| 22 | 日 | 簿記実務検定                   |
| 26 | 木 | 期末試験発表                   |

このコーナーでは、県立窪川高校、県立四万十高校、町営塾「じゆうく。」での生徒たちの活動を月替わりで紹介します。



武内 百合さん  
(パン工房経営)



## 子どもたちの記憶に残るパンを

子どもの頃、近所の店で食べた「地元の味」は、大人になっても意外と覚えているものだ。店のおんちゃん、おばちゃんと交わした何気ない会話も、故郷の思い出として心に残っている。

大正地区で「ゆりパン」を営む武内百合さんは、そんな「子どもたちの記憶に残るパンを焼きたい」と話す。自宅の敷地に建てた3畳ほどの小さな工房で、クロワッサンや食パンを作っている。

工房では製造のみを行い、店頭販売はしていない。ネット通販のほか、道の駅四万十大正や町内のカフェなどで委託販売している。一人で作れる数には限りがあり、すぐに売り切れてしまうことも多いという。たくさん作ろうとした時期もあったが、「どうしても納得のいくものが出せなくて。今は自分のこだわりが行き届く量を焼くようにしています」。

もともとは町役場の臨時職員だった。2年ほど前、子育てと家事を優先するため、「自宅で働けるように」と考えてパン工房を始めた。パン作りは独学の趣味だったが、ママ友

や地域の人からの「おいしいから、もっと作ってほしい」という声に背中を押された。

看板商品のクロワッサンは、外はパリッと中はふんわり。バターが香る食べ応えのある一品だ。生地を仕込んでから2～3日かけて熟成させ、一つ一つ丁寧に焼き上げる。理想の食感を出すため、小麦粉の種類や配合を変えながら試行錯誤を重ねた。本場パリのクロワッサンを取り寄せて食べてみたこともある。

「子どもの頃、商店街の人たちによく遊んでもらったなあって思い出すんです」と武内さん。大正の街並みは当時よりも少し寂しくなったが、「今の子どもたちにも、地元で育った良さを思い出せるような味があればいいなと思って」。少しでも地域を盛り上げようと、こだわりのパン作りを続けている。

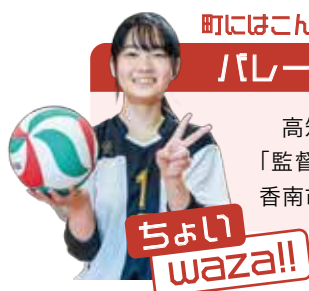


#### 町にはこんな waza も

#### バレーボールクラブのキャプテン！ 藤田 和笑さん 影野小学校6年

高知県選抜の選手も輩出している「伊与喜VBC」（黒潮町）のキャプテンを務める。「監督もチームもみんな優しく楽しい。アタックで点が決まった時が面白いです」。香南市や佐川町など、さまざまな地域から通う仲間と練習に励んでいる。

こだわりの「技」できらりと光る四万十町の人々を紹介します。  
ちょいwaza!!は随時募集中!▶





まずは協力いただいたすべてのの方々に感謝いたします。窪川地区では、郷土歴史家の林一将氏、大正地区では田邊猛氏、さらに各地域の方々、十和地区でも区長さんはじめ、実に多種多様な皆様にご協力いただきました。地域に伝わる逸話や子ども時代のお話をしてくださったり、見所を案内していただいたりと、その全てがありがたく、そして貴重な学びになりました。皆様の協力なくして、この連載を続けることはできなかったことは言うまでもありません。改めて深く御礼申し上げます。

「歴史は未来を歩く杖」これは歴史家の磯田道史氏の言葉である。各地区の成り立ちや、人々の暮らしの変遷を取材、調査、探究を続けてきた約15年は、そのことを改めて確認する日々となった。

今日起きたことの原因は昨日にあり、昨日のことは・・・そのようにして、今日という日は10年前、100年前、1000年前からつながっているし、10年後、100年後、1000年後の未来へとつながっていく。このことは、地球上のいかなる場所・事・人においても違いはない。当然、当地も、あなたも、私もその例外ではない。

未来を創造する時に、現在地を正確に知らねばならないし、現在地を知るためには過去を正しく掴んでおかねばならない。古代の遺跡から学び、中世の戦乱期、江戸時代の安定期を古文書などから学ぶ。幕末の動乱期を経て、近代へ向かう激動と変革の時代を記録資料などから学ぶ。さらに戦前戦中、そして戦後すぐの混乱期を正視し、高度成長期を検証する。

そのようにして歴史のつながりに目を凝らしつつ、都(都市)から遠く離れたこの山間の、谷間の、海沿いの、まさに辺境の地で、人々はどのように生き抜いてきたのかを考察する。人々は何に喜び、何に苦しみ、何に従い、何に耐え、何に抗い、何を学

び、何を希望に生きてきたのであろうか。それらに迫るため、現場に足を運び、時代背景を顧みつつ、人と会い、聞き、語り合い、学ぶ。すると新たな疑問が湧き、また足を運ぶ。その繰り返しによってこそ、はるか昔からここで生きてきた人々の体温や息づかいを感じることができる。はるか昔の子どもたちの歓声までもが聞こえて来るような時もある。「それらの続きが今なのだ」と「今を見る目」がクリアになる。

私は26年前に神戸から十和村に移住した、いわゆるIターンである。26年の間にはたくさんの「？」つまり「この地はなぜこうなっているのだろうか？」という疑問があったし、今もある。故に、この地を深く知りたいと思い、また、知らねばならないと思い続けてきた。約15年を費やした取材、調査、考察、そして連載は一区切りを迎えたのだが、まだまだ知らないことだらけである。知らねばならないことばかりである。「学んでも学んでもまだまだ足りない。私はまだ何も知らない」と自覚していなければ「わかったつもり」に陥り、学びは止まる。私が最も恐れることである。

これからも、たくさんの人々とともに、この地を、そして、この地を取り巻く社会全体を学ぶ旅を続けていこうと思う。

次号から、休・廃校になった町内の小中学校を回顧する「そこに学校があった」が始まります。  
1校目は、この3月で休校となった昭和小学校です。

## 町のうごき

| (4月30日) | 人      | 口   | 前月比 | 出生       | 死亡 | 転入 | 転出 |
|---------|--------|-----|-----|----------|----|----|----|
| 男       | 7,100  | -13 |     | 男 3      | 19 | 26 | 23 |
| 女       | 7,641  | -8  |     | 女 0      | 14 | 26 | 20 |
| 計       | 14,741 | -21 |     | 計 3      | 33 | 52 | 43 |
| 世帯数     | 7,907  | 3   |     | (4月中の届出) |    |    |    |

窪川地域 10,520人 大正地域 2,031人 十和地域 2,190人